

令和7年度 北海道稚内高等学校(定時制)学校関係者評価 一学校評議員一

1 学校教育目標

- ・進んで学ぶ態度を養い、自律して生きる力を育てる
- ・規律を守る態度を養い、社会に適応する力を育てる
- ・勤労を尊ぶ態度を養い、進んで実践する力を育てる

2 スクール・ミッション

- ・社会的・職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付け、持続可能な社会の実現に努める生徒の育成
- ・望ましい勤労観、職業観を身に付け、自己実現のために努力する生徒の育成
- ・地域課題の解決に果敢に挑戦する次代を担う「わっかない人」の育成
- ・社会人基礎力(アクション・シンキング・チームワーク)の育成

3 3つの方針(スクール・ポリシー)

○育成を目指す資質・能力に関する方針

- ・基礎学力の定着により思考力・判断力・表現力が身に付く
- ・自己と他者の命と人権を大切に作る意識が醸成できる
- ・社会人基礎力が身に付く。

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- ・自立して社会の発展に積極的に貢献していく資質・能力の育成
- ・基礎・基本の定着と生徒個々の成就感・達成感を味わえる授業と授業規律の確立
- ・自立とキャリア教育の活性化

○入学者の受入れに関する方針

- ・基礎学力の習得から定着まで主体的・継続的に前向きな取組ができる生徒
- ・互いを認め合い、共に生きることの大切さを理解できる生徒
- ・社会生活に役立つ知識や規範意識を主体的に身に付けようと努力する生徒

4 学校経営の基本的な考え方(別紙)

5 教職員・保護者共通事項

・以下の自己評価(教員評価)の適切さおよび、改善の方策の適切さについて、次の4、3、2、1から最も適切と思われる数字を選んで、右の空欄に記入してください。(4:適切である 3:ほぼ適切である 2:やや不適切である 1:不適切である)

・各分野毎にご意見がございましたらご記入ください。

分野領域	No.	評価項目	評価		改善の方策	自己評価の適切さ	改善方策の適切さ
			教員	保護者			
学校全般	1	本校の教育が生徒の実態に対応し、保護者や地域の方々の期待にこたえるものとなっているか。	令和7年度		授業改善や行事の精選を図り、生徒の実態に合わせて、保護者を交えた面談機会を設定し、キャリアプランの具体化を支援する。	3.6	3.6
			3.33	2.91			
	令和6年度		これまでの取組に加え、ICT等を活用し、生徒の活動状況を積極的に発信する「開かれた学校づくり」を推進する。	3.6		3.6	
	3.22	3.00					
2	家庭や地域との連携を深め、開かれた学校づくりがなされているか。(学校通信「黎明」、ホームページ、講演会など地域の人材の活用)	令和7年度		3.6	3.6		
		3.33	2.77				
		令和6年度					
		3.00	2.81				
ご意見							
情報発信	3	家庭や地域に情報を発信し、本校の教育活動が伝えられているか。	令和7年度		学校生活の様子を発信する際の内容や、発信する手段・方法を工夫する。また、地域との交流を深め、本校の教育活動を知ってもらう。	3.6	3.6
			3.22	2.59			
			令和6年度				
		3.22	2.73				
ご意見							

(裏面に続きます)

分野領域	No.	評価項目	評価		改善の方策	自己評価の適切さ	改善方策の適切さ
			教員	保護者			
学習指導	4	生徒の実態に対応し基礎的な学力の定着のために指導方法を工夫する等、学習指導を適切に行っているか。	令和7年度		生徒による「授業評価」の定期的実施により、結果を分析し、教科指導にフィードバックすることで、授業改善及び指導と評価の一体化を推進する。	3.6	3.6
			3.33	2.95			
	令和6年度						
	3.33	2.77					
5	生徒の基礎的な学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力等)が向上しているか。	令和7年度		生徒の実態を踏まえ、ICT等を活用した個別最適な学びの推進や、学習成果をアウトプットする機会や場面などを増やすよう努めたい。	3.6	3.6	
		3.11	3.10				
	令和6年度						
	3.33	3.00					
ご意見							
生徒指導	6	高校生として望ましい生活習慣(服装等)や社会性(協調性や態度等)が身につくよう適切に指導を行っているか。	令和7年度		授業や特別活動を通じて、社会人としてあるべき姿を育み、必要な社会性、コミュニケーション能力の向上を目指す。	3.6	3.6
			3.00	3.00			
	令和6年度						
	3.11	3.08					
	7	生徒の人間性育成のために、学校内での指導だけでなく、各家庭と連携した生徒指導を行っているか。	令和7年度		保護者との定期面談や家庭訪問等により、より強固な関係づくりに努める。	3.2	3.4
			2.78	2.71			
令和6年度							
3.11	2.77						
8	いじめの防止に向け適切な指導がなされているか。また、いじめの早期発見、早期解決を図るための校内体制が整備されているか。	令和7年度		いじめの防止・早期発見・早期解決のため、人権教育、道徳教育に係る指導を行う。また、地域とともに見守る体制づくりを継続する。	3.6	3.6	
		3.44	2.67				
令和6年度							
3.44	2.77						
ご意見 先生方の時間的制約があると思うので、7の改善の方策については、頭が下がる思いです。							
進路指導	9	生徒の能力・適性に合った進路が実現されるような指導を行っているか。	令和7年度		進路指導に係る校内研修の充実を図り、地域機関等と連携し、生徒の進路希望や実態等に合わせた個別伴奏型のキャリア支援に努める。	3.6	3.6
			3.11	2.86			
	令和6年度						
	2.89	2.85					
10	進路指導に際して情報交換等保護者と十分に連携が図れているか。	令和7年度		進路指導のスケジュール表を作成し、どの時期に何をするのかを明確に示す。また、三者面談や個人面談などの機会を意識的に増やす。	3.4	3.8	
		2.89	2.57				
令和6年度							
2.89	2.69						
ご意見							
行政一般	11	窓口や電話での対応は適切に行われているか。	令和7年度		保護者、各教育機関とのスムーズな連携を目指すため、丁寧な対応を心がける。	4.0	4.0
			3.33	3.14			
	令和6年度						
	3.11	3.12					
12	証明書等の発行業務について適切に行われているか。	令和7年度		迅速で日数に余裕を持った発行に心がける。	3.8	3.8	
		3.33	3.05				
令和6年度							
3.33	3.35						
ご意見 教員の評価より、保護者の評価の方が全体的に低いので、先生方の頑張りや保護者の方々に届くよう、今以上に発信されると良いのではないかと思います。							

※ 今回の評価結果を今後の教育に生かすため、ご意見等がありましたら記入してください。

--